

江戸時代（近世後期）	()組	氏
	()番	名

一郎さんの学級では、「近世後期」の学習の振り返りとして、「江戸幕府の改革」「身分制度」「キリスト教の禁止」「鎖国政策」のキーワードの中から二つ選び、各自で整理することにしました。カードA～Cは、保志さんが作成したものである。後の各問いに答えなさい。

A 武士は、幕府を支えていたので、^{みょうじ}名字・^{たいとう}帯刀などいくつかの^{とっけん}特権があったが、大名を統制する^{ぶけしよほつと}武家諸法度を守らなければならなかった。

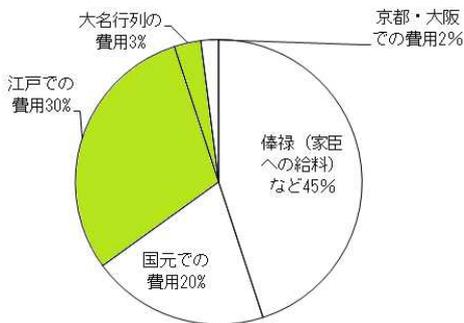
(1) カードAの波線部については、将軍の代がわりごとに出され、一郎さんは、第3代将軍徳川家光が制度として定めた「参勤交代」について資料1～3を作成した。

【資料1 主な藩の大名行列にかかったおおよその日数・経費等】

藩	石高	道程	日数	経費
前田家（加賀藩）	103万石	119里（480km）	13日	5,333両
池田家（鳥取藩）	33万石	180里（720km）	22日	5,500両
伊達家（宇和島藩）	10万石	255里（1,020km）	30日	986両
島津家（薩摩藩）	77万石	440里（1,700km）	40～60日	17,000両

（「ウィキペディア」フリー百科事典から作成）

【資料2 財政（年間支出）にしめる参勤交代の費用の例（松江藩）】



（小学館「江戸時代館」から作成）

【資料3 参勤交代における幕府の規定の人数と実際の人数の例】

	規定の人数	実際の人数
飢肥藩	150人	300人～400人
加賀藩	450人	2,000人～4,000人

（「参勤交代道中記」などをもとに作成）

① 資料1、2から、参勤交代が大名にどのような影響を与えたか答えなさい。

② 資料3から、一郎さんは、なぜ、規定と違う人数で大名行列を行ったのか、次のような仮説を考えました。（ ）に当てはまる文を答えなさい。

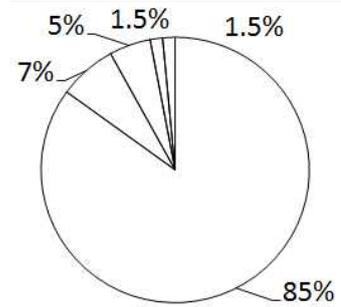
()

を示す絶好の機会であったから。

B 「百姓と胡麻の油はしぼればしぼるほどとれる」と言われ、百姓には、
 ①百姓の生活心得による統制や②五人組の制度が負わされた。

- (2) 右のグラフは、江戸時代の身分別の人口の割合を作成したものである。百姓身分の部分黒鉛筆で塗りなさい。
 (3) 次の資料3は、カードBの波線部①について、その一部を示したものである。() に当てはまる穀物名を に書きなさい。

【身分別の人口の割合】



資料3 百姓の生活心得 (部分)

- 朝は早く起きて草をかり、昼は田畑を耕作し、晩には縄をない、俵を編み、それぞれの仕事に気をぬくことなくはげむこと。
- 酒や茶を買って飲まないようにせよ。
- 百姓は雑穀を食べ、() を多く食いつぶさぬようにせよ。

- (4) カードBの波線部①・②について、幕府が出した目的を、「确实」という語句を用いて簡潔に説明しなさい。

C 幕府は、様々な財政・制度改革を幾度にもわたって行いながら、ききんなどを乗り越え、立て直しを図ってきた。

- (5) カードCの波線部について、一郎さんは、江戸時代の三つの改革を、次の表に整理しました。改革独自の取組を「年貢」の視点からをまとめていくと、共通する内容があります。どのような内容か答えなさい。

	享保の改革	寛政の改革	天保改革
他の改革と共通の取組	・質素、儉約を命じた。	・質素、儉約を命じた。 ・旗本や御家人の借金を帳消しにした。	・質素、儉約を命じた。 ・旗本や御家人の借金を帳消しにした。
独自の取組	・公事方御定書を定め、目安箱を設置した。 ・参勤交代での江戸滞在期間を半減し、大名から納めさせる米の量を増やした。	・朱子学以外の学問を教えることを禁じた。 ・凶作やききんに備えるため、各地に倉を設けて米をたくわえさせた。	・株仲間に解散を命じた。 ・江戸などに出かせぎに出ていた農民を自分の農村に帰らせた。